



たつまきは、どうしてできるの

たつまきができる原因は、はっきりわかっていない

たつまきは、ゾウの鼻のような長い雲のうずまきが、雲と地上とをつなぎ、空気が地上から上空へ、激しくふき上げられてできるものです。

たつまきは、短い時間に、せまい場所で発生することもあって、できる原因がまだはっきりわかっていません。

しかし、たつまきが起きているときは、上空に空気のうすいところができ、そこをうめるために、下から空気が激しく吸い上げられます。すると、空気がうずを巻き始めます。これがたつまきになることは、わかっています。

たつまきの中は、気圧が低い

たつまきが起きると、空気が激しくうずを巻き、強い風がふきます。たつまきは、海の水を吸い上げたり、車を数十メートルもふき飛ばしたり、家をこわしたりすることがあります。

たつまきのうずの直径は、50～100メートルぐらいのことが多く、風の速さは、1秒間に100メートル以上になることがあります。たつまきでふく風は、地球上でふく、最も強い風だといわれています。

たつまきのうずにふきこむ風は、非常に強いので、地上にあるものが、そのうずまきの中に吸いこまれて、ほかのところに運ばれたりします。（監修・村山 貢司）

